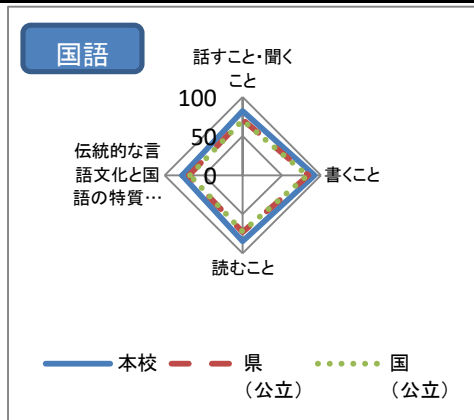


本年度正答率(本校84%, 県74%, 国72.8%)

本年度の結果について



全体の正答率は84%であり、県平均を10P上回ることができた。基礎的・基本的な知識を活用して問題解決する力がついてきていると言える。全ての問題において県平均・全国平均の正答率を上回っているが、正答率8割に届かなかった問題も2問あった。「封筒の書き方を理解して書く」ことが73%、「話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えを持つ」ことが71%と、課題が見えた。「封筒の書き方を理解して書く」ことについては、日常生活での経験不足が原因だと考えられるため、授業で手紙や宛名を書く機会を設けて、正しい書き方を学ばせたい。「話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えを持つ」ことについては、話の話題や方向、流れが捉えられていないことと、自分の考えを具体的に書くことができないことの二つの要因があった。前者については、文章の一部分(多くは前半のみ)を読んで解答してしまっており、全体を読むことができていないからだと考えられる。後者については、「具体的に書く」とはどういうことを事例を挙げておさえ、問題に「具体的に」という指示があった際の答え方に注意を促す。

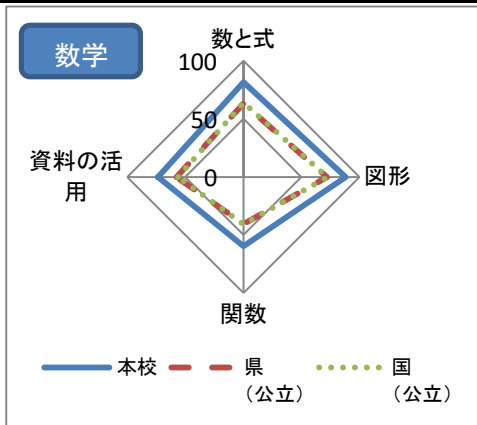
重点課題
【課題1】 封筒の書き方を理解して書く
【課題2】 話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えを持つ

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)	全校での目標(キャッチフレーズ)
日本郵便の教育プログラム「手紙の書き方」を活用し、本物ののがきに年賀状を書く機会を設け、手紙や宛名の正しい書き方を学ばせる。	宛名を正しく書こう
どの文章においても一部分だけ読むのではなく、文章全体で捉えられるように、要約させたり要旨をまとめたりさせる。案や意見を考える際、「具体的」をキーワードに書かせたり説明させたりする。	具体的に言うത്？

令和2年度 全国学力・学習状況調査 数値目標
県平均+5P

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
【課題1】							
学年・方法				2・3年 授業		2年 学年末試験	全国学力・学習状況調査
目標値				90%		90%	90%
実施後数値							
【課題2】							
学年・方法		3年 中間試験				2年 学年末試験	全国学力・学習状況調査
目標値		80%				75%	80%
実施後数値							

本年度正答率(本校77%, 県60%, 国59.8%)	本年度の結果について
-----------------------------	------------



全体の通過率は77%であり、全国平均59.8%を17.2ポイント上回った。どの領域においても全国平均を15ポイント以上上回っており、基礎的・基本的な知識・理解の定着が図られてると考えられる。1年次より苦手な単元、苦手な問題については小学校段階まで掘り下げ、補習や毎日の家庭学習の課題で指導を行った。さらに、定期テストで継続して苦手としている問題を出題し定着を謀った。授業では、基礎基本の定着に重点を置き、定着状況に応じて、扱う問題の難易度や問題数を選択できるように柔軟性を持たせ、個々の能力を出し惜しむことがないよう留意した。また、単元を貫く課題を設定し、指導を行う取り組みを全教科で取り組んだ結果、生徒が学びのゴール像をイメージしながら意欲的に学習に取り組むことができた。さらに、小学校の時から継続して文章を読み解く力を、教科を横断して育成し、問題で何を求められているのかを適確に判断する力が身につけていると考えられる。

しかし、大問5の確率に関する問題の通過率が県と全国の平均を下回った。確率の求め方への理解に課題が見受けられる。図や表を適切に活用できるように指導していく。

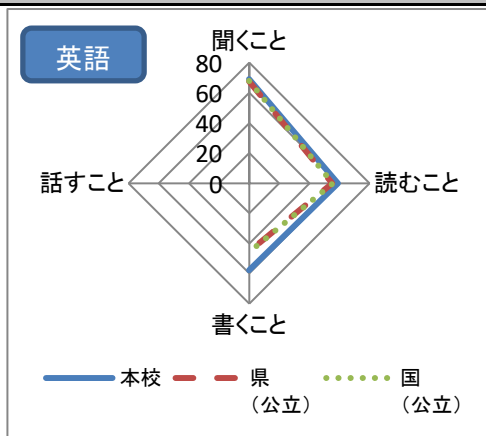
重点課題	重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)	全校での目標(キャッチフレーズ)
【課題1】 確率の求め方の理解に課題がある。	実際に試行をさせて、予想と結果にずれがある体験をさせ、確率を求める際は、想像と理論値にはずれがあることを認識させる。そして、図等を用いて情報を整理してから確率を求めることを習慣化させる。	まずやってみよう
【課題2】 事象を数学的に解釈し、文章で説明する力に課題がある。	文章問題や関数のグラフの読み取りの発展問題を授業に取り入れながら、必要な情報を取捨選択し、自分の考えを相手に伝える活動を取り入れる。	グラフの活用問題を取り入れよう

令和元年度 全国学力・ 学習状況調査 数値目標
70%

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法					3学年・定期試験	1, 2学年・定期試験	全国学力・学習状況調査
目標値					75%	70%	75%
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法					3学年・定期試験	1, 2学年・定期試験	全国学力・学習状況調査
目標値					55%	50%	55%
実施後数値							

本年度正答率(本校62%, 県56%, 国56.0%)

本年度の結果について



全体の正答率は62%であり、県・全国平均を6ポイント上回った。日常的な教室英語やまとまりのある英語を聞いて、必要な情報を正確に聞き取ること【聞くこと】や、日常的な話題についての語句や文で書かれたものや話のあらすじを読み取ること、与えられた情報に基づいて3人称単数現在時制を使って書くことは概ね定着していると考えられる【読むこと・書くこと】。

一方で、各領域を通して40%を下回る問題もあり、課題が残った。聞いた内容や与えられた情報やテーマについて基本的な語や文法事項等を理解して文を正確に書くこと、自分の考えをつながり意識して書くことや話の内容・書き手の意見に関連させて書くこと等、学習した知識・技能を活用し、表現する力にまだまだ課題があることがわかった。

「話すこと」の領域において、授業の中でスピーチやSmall Talk等、与えられたテーマについてまとまりのある内容で自分の考えを話すことを行っており、自分の考えを積極的に話そうとすることは概ねできているが、内容に一貫性を持たせ、相手にわかりやすく伝えること等を継続して指導していく必要がある。また、聞いた内容について即興で自分の考えを述べ、やりとりをすることにも課題が残った。即興での表現活動の場を増やし、引き続き指導していく。



重点課題
【課題1】 大問8 書かれた内容に対して、話の内容や書き手の意見をとらえ、自分の考えを示すことに課題がある。(正答率13.4%)
【課題2】 大問10 与えられたテーマについて、自分の考えを整理し、つながりなどに注意してまとまりのある文を書くことに課題がある(正答率0.0%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)	全校での目標(キャッチフレーズ)
<p>帯学習として授業の中で、短い英文から必要な情報を読み取り、書き手の意見を主体的にとらえ、自分の考えをまとめる学習を行っていく。本文読解では、知識・情報を複合的に結びつけて考えさせ、必要な情報を活用する力を伸ばしていく。</p> <p>テーマや場面を設定し、既習事項を用いて、自分の考えを述べるだけでなく、つながりや理由を明らかにしながら自分の考えを表現する活動を増やしていく。自分の気持ち・意見を相手にわかりやすく伝えることも意識させるよう指導していく。</p>	<p>書き手の意見をとらえよう!</p> <p>相手にわかりやすく伝えよう!</p>

令和2年度 全国学力・学習状況調査 数値目標
65%

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法					3年 学年末試験	1, 2学年・定期試験	
目標値					65%	50%	
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法					3年 学年末試験	1, 2学年・定期試験	
目標値					65%	50%	
実施後数値							

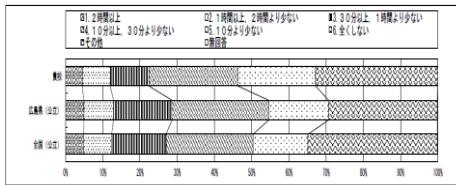
平成31年度(令和元年度) 指導方法等の改善計画について【質問紙】

海田町立海田西中学校

(全国学力・学習状況調査 質問紙)

(1)生活・学習

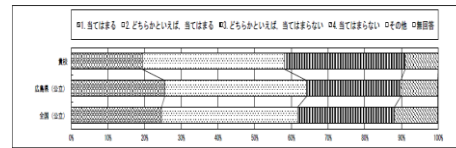
質問番号	質問事項											
(19)	学校の授業時間以外に、書読(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(原簿や学年書、漫画や雑誌を除く)											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
全校	4.5	7.5	10.4	23.9	20.9	22.3					0.0	0.1
広域圏(公立)	4.9	6.0	15.7	20.0	18.1	20.3					0.0	0.1
全国(公立)	4.9	7.6	14.6	22.4	14.9	14.0					0.0	0.1



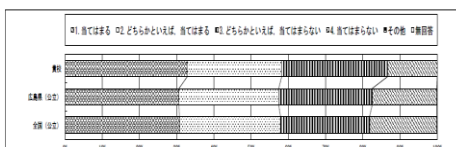
児童生徒の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどのくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌を除く)。1日30分以上読書をする生徒の割合が22.4%と低い。	生徒委員会(図書委員会)の活動を通して、図書室の利用の促進・朝読書活動の充実を図り、読書の習慣化を図る。	3	50%	3学期末にアンケートを実施する。	2月		

(2)教科

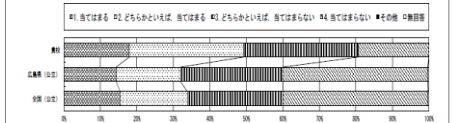
質問番号	質問事項											
(40)	国語の勉強は好きですか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
全校	19.4	28.2	22.2	9.0							0.0	0.1
広域圏(公立)	25.5	28.7	25.7	10.1							0.0	0.1
全国(公立)	14.6	27.1	26.4	11.9							0.0	0.1



質問番号	質問事項											
(49)	数学の勉強は好きですか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
全校	22.8	25.4	23.4	13.4							0.0	0.1
広域圏(公立)	20.6	26.8	25.1	17.4							0.0	0.1
全国(公立)	20.7	27.2	23.9	16.1							0.0	0.1



質問番号	質問事項											
(56)	あなたはこれまで、学校の授業やその他の学習の中で、日常的に英語を使う機会(地域の人や海外にいる人と英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビゲームやホームページを見る、英会話教室に通うなど)が十分にありましたか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
全校	17.9	33.0	31.0	12.4							0.0	0.1
広域圏(公立)	14.9	32.6	28.0	20.7							0.0	0.1
全国(公立)	15.4	31.4	28.2	20.8							0.0	0.1



児童生徒の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
国語 国語の勉強は好きですか。(肯定的評価58.2%) 学習意欲は高いが、国語が好きな生徒が少ない。	授業や課題を「やらされている」と感じてしまっている生徒を減らす。生徒から出た疑問を学習課題に設定したり、選択肢を設けたり、主体的に勉強できるような授業づくりを行う。	3	65%	3学期末にアンケートを実施する。	2月		
数学 数学の勉強は好きですか。(肯定的評価・・・58.2%) が他の質問事項と比較して低い。	解ける喜び、分かる喜びを全員が実感できるように個別の支援を施していく。また、肯定的な評価を行ってきた達成感を与える。	3	65%	2,3学期末に授業アンケートを実施する。	3学期末(2月)		
英語 あなたはこれまで、学校の授業やその他の学習以外で、日常的に英語を使う機会(地域の人や海外にいる人と英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビゲームやホームページを見る、英会話教室に通うなど)が十分にありましたか。(肯定的評価・・・49.2%) が他の質問事項と比較して低い。	授業で学習したことを活用して、積極的に英語を使ってコミュニケーションをとりたいと思えるよう、対話的な学びの場を増やしていく。	3	60%	3学期末にアンケートを実施する。	2月		